

勝負の秋 その4

次から次へと勝負の秋です。令和3年度大学入学試験共通テストにかかる2年生の英語4技能資格試験の一つである英語検定協会予約申し込みが、9月18日から開始しました。本校2年生は、約60%が、この申し込みを行う予定です。

この申し込みですが、3,000円を申し込み代金として払い、受験予定者を確定し、各県における受験会場の確保や、日程の調整に入るためのものです。全体で、4月から11月まで、2回の受験しかできないため、この申し込みは戦略をもってするべきですが、4月から7月期における英検受験の予約として今回開始したものであり、2月になってから、具体的に先着順の本申し込みが伴います。この本申し込みによって、受験日時と受験場所が確定します。4月から7月までに2回受けてもよいのですが、同じ級は受けられません。そして、2回の機会がそれで終わってしまうというのも事実です。

8月から11月の受験のための予約申し込みは、また1月に行われるのであり、この本申し込みは6月に行われます。これもまた先着順の本申し込みが必要です。受験料（準1級で、9,800円、2級で約7,500円）から、予約の時払った3,000円はひかれて申し込みとなります。

併せて、ベネッセコーポレーションのGTEC前期受験日は、6月14日から7月19日、後期受験日は、10月4日から11月1日と定められました。

この申し込み方法と受験日程及び場所等については、追って通知される模様です。

このような複雑極まりない英語検定試験は、英語のいわば入学資格のグレードを決めるのであり、大学によっては、そのグレードがない場合、受験申し込みの資格としてはじかれることもあります。また、これも大学によりますが、例えば、1級のグレードを持っていれば、200点の英語の40点分の40点満点を与え、2級なら20点とするような、点数化をする大学もあるのです。また、東北大学のように、この検定試験については、一切使用しないと大学もあります。

このような未だ全容が明らかにならない試験について、各地で批判が高まっていますが、本校においては、粛々と準備をしてまいる所存です。世の中の動きと学習の本質は別物です。学習の本質を極めれば、何においても恐れるに足りません。

ただし、手続等は、準備万端行うべきであり、そのことによって受験機会を減らしたりすることは賢明ではないと思うので、情報はきちんと伝え、選択を生徒にと保護者に任せ、受験の機会確保の確認と受験後の対応を学校はしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

